

「経営に行き詰まったとしても、会社や店を閉めずに事業を続ける道を探しましょう」。民間資格の認定事業再生士（CPTP）を取得し、札幌で事業再生コンサルタント事務所を経営している山崎誠さん（46）は、景気が急速に悪化する道内の経営者たちに呼びかけている。

札幌市出身。北大卒業後、銀行や会計

事務所で中小企

業の融資審査や

監査業務を担当

### 看板と雇用守る役に

し、破産や倒産の危機に直面して苦しむ経営者たちを目の当たりにしてきた。「札幌は本州に比べて企業基盤が弱い。自分の古里のため役立つ仕事がしたい」と、昨年7月、独立して事務所を構えた。

この1年4カ月で相談受件数は10



0件に上る。建設業からの相談が多いが、8月

中旬以降は飲食業などにも影響が及んでいるという。「自己破産して債務整理する方法もあるが、営業赤字が出るように経営体質を改善して、企業の看板と従業員の雇用を守れるよう、役に立ちたい」と話す。

【鈴木勝一】

## 交差点